越後獅子祭り　やくざ若衆（1955）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 85分
初公開日 1955/02/13

【解説】
長谷川伸の小説『越後獅子祭』を「たん子たん吉珍道中」三部作の三村伸太郎と「大江戸千両囃子」の旗一平が脚色し「新諸国物語」五部作の萩原遼が監督した股旅もの。中村錦之助が初めてやくざを演じた記念すべき一作。
幼いころ貧しい父に手放された越後片貝生まれの半四郎は、角兵衛獅子に預けられ十数年が経ち、今はやくざ渡世に生きている。父を訪ねて旅をしていた半四郎は、道中でやくざ嫌いの呉服商人の越後屋新右衛門と出会う。実は新右衛門こそ半四郎の実の父親なのだが、二人ともそのことに気づいていなかった。越後へ行商に行く伝兵衛の娘お小夜は半四郎に恋心を抱くが、彼女はいかさま師の彌十に追われていた。そのお小夜が浅井という侍にさらわれてしまい、半四郎は彼女を救い出そうとするのだが…。

【クレジット】
監督 萩原遼
企画 福島通人
原作 長谷川伸　「越後獅子祭」
脚本 三村伸太郎
旗一平
撮影 藤井春美
美術 吉村晟
音楽 木下忠司
出演 中村錦之助
高千穂ひづる
千原しのぶ
薄田研二
原健策
加藤嘉
吉田義夫
山茶花究

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.